

ドリームちゅうおう

2

DREAM CHUOH
FEBRUARY 2025
No.325



今月号のCONTENTS

- | | | |
|---------------|--------------------------------|------------|
| 02 特集「おもち」 | 07 トピックス | 12 まちがいさがし |
| 04 あぐりキッズスクール | 08 青壮年部の活動紹介 | |
| 05 女性大学ルミナル | 10 読者からのお頼り紹介 & 暮らしをうたう川柳 | |
| 06 女性会の活動紹介 | 11 食卓を彩る旬のレシピ & JA information | |





簡単！おいしい！

余った

もち

を美味しくアレンジ

お正月に欠かせないお餅ですが、三が日を過ぎると余りがちとなっていていませんか。今年も、そんなお餅の活用法をご紹介します。

レシピ①

肉巻きもち

材料（2人前）

豚ロース薄切り肉	12枚	
切り餅	4個	
片栗粉	小さじ1～2	
白ごま	適量	
小ねぎ(小口切り)	適量	
植物油	適量	
A {	水	大さじ2
	醤油	大さじ2
	砂糖	大さじ1
	酒	大さじ1/2
	みりん	大さじ1/2
	酢	小さじ1/2



作り方

01

縦に3等分にした切り餅に豚ロース薄切り肉を1枚ずつ巻き付け全体に片栗粉を薄くまぶす

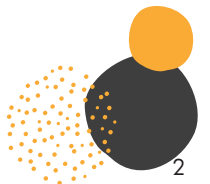
02

中火で熱したフライパンに植物油を入れ1の巻き終わりを下にして並べて、返しながら餅に8～9割程度、火が通るまで焼く



03

Aを加え、照りっとツヤ感が出たら火を止め、器に盛り、お好みで白ごま、小ねぎ(小口切り)を添えて完成



レシピ② みたらし餡でモッフル



おやつにピッタリ！
トロ〜りみたらし餡はレンジでカンタンにできます♪

材料（1人前）

切り餅	2個	
A {	醤油	大さじ1
	みりん	大さじ2
	砂糖	大さじ3
	片栗粉	小さじ2
	水	大さじ5

01

切り餅はサッと水にくぐらせレンジで1分チンし、ワッフルメーカーで焼く

02

耐熱容器にAを入れて良く混ぜ、レンジで40秒チン→混ぜる→20秒チン→混ぜる
※ゆるい場合は10秒ずつ加熱してください

03

焼きあがったモッフルにみたらし餡をかけて完成



お正月が終わりお餅が余って困っている、冷凍保存も場所をとって困っているという方は、ぜひお試しください。モッフルは、ワッフルメーカーが無い場合でもクッキングシートの上からフライ返しなどで押しつけて焼いてもできます！

第9回 あぐりキッズスクール

倉吉・三朝クラス
あぐり生 9人 保護者 7人

12月21日(土) 修了式

湯梨浜・北栄・琴浦クラス
あぐり生 16人 保護者 14人

第21期あぐりキッズスクールの修了式をJA本所で開きました。田植えや稲刈りなどの米づくり体験や7月には大阪の市場見学、9月には県産木材を使ったプランター作り、11月には収穫したお米で餅つきをし、みんなで食べるなど、食と農の大切さを楽しく学びました。

修了式では、代表2人が思い出の作文を発表。河田啓杜さんは「田植えや稲刈りの体験が一番印象に残っている。慣れない作業だったが楽しかった。自分たちで作ったお米は美味しかった」と振り返りました。

同スクールの校長である上本武組合長は「自然の中や農業体験活動を通じて、心優しく思いやりのある気持ちを育んでもらえたと思う」とあいさつし、児童40人に修了証書を手渡しました。



上本校長からの挨拶



皆勤賞おめでとう



田植えと稲刈り
楽しかったです



1年間お疲れ様でした(´・ω・`)



色々な体験が出来て
良い思い出になりました



補助ありがとうございました



第11期

12月20日

女性大学「ルミナール」卒業式

倉吉市で女性大学「ルミナール」の卒業式を開きました。全7回で構成された11期は、5月の入学式に始まり、倉吉西瓜選果場とほ場の見学、女性会を講師に迎えて焼肉のタレ作りや特産品でのバーベキュー、さらにリンゴや白ネギの収穫体験、将来に向けてのライフプラン研修等、JAの強みを活かしたカリキュラムで地域や農業について学びました。

そのほか、ピラティスやクリスマスリース作り等、自分磨きも楽しみました。

卒業式では、代表の村上仁美さんが「貴重な体験や新しい出会いを活かし、これからも輝く女性を目指し、女性会活動も引き続き参加していきたい。」と挨拶しました。

同大学の校長である上本武組合長は「楽しいことばかりでなく、苦しい事や大変な事もあっただろうが、人生の一コマとして糧にして、これからは生き生きと生活してほしい」とあいさつしました。



5月 入学式



6月 西瓜選果場見学・圃場見学



7月 焼肉のタレ作り・バーベキュー



9月 ライフプラン講習・ピラティス



10月 リンゴ狩り・紙漉き体験



11月 白ネギ収穫体験



12月 クリスマスリース作り



12月 卒業式

女性会の活動

女性会のできごとをお伝えします

12/12 より良い事業運営を目指して JA役員に意見要望伝える

JA鳥取中央と同JA女性会は、倉吉市のJA本所で「女性の集い」を開きました。「女性の集い」とは、より良い、女性会活動の確立とJA事業運営を目指して、女性会会員がJA役員に意見や要望を伝える会。今回は、「会員拡大としてJA職員にも声掛けの協力してほしい」、「会員特典の直売所割引を以前同様5%に戻してほしい」など30以上の意見が寄せられました。

向井敏弘専務は「忌憚のない意見をいただき、しっかり事業運営に反映していきたい」と話しました。



挨拶をする福井満寿美会長

12/5 久米支部 ちりめん細工教室 お雛さま作りに挑戦

久米支部の有志でつくる「えがおグループ」は倉吉市で、ちりめん細工教室を開き、会員11人が参加しました。講師に明里美也子さんを招き、つまみ細工のお雛さま作りをしました。参加者たちは小さい針を使うのに苦戦しながらも思い思いの作品を作りました。

参加した福井美幸さんは「可愛いものが出来て良かった。皆でわいわい一生懸命に作った」と話しました。



真剣に仕上げの目をつけている参加者

講師の明里美也子さんは「皆さんが熱心で丁寧に取り組むという気持ちが伝わってきた。ものづくりの楽しさをもっとしてほしい」と話しました。

12/17 東伯支部 米ひとにぎり運動で 「コシヒカリ」をみどり園に贈呈

東伯支部は、地域貢献活動の一環で琴浦町の特別養護老人ホームみどり園へ、お米20kgを贈呈しました。また、家の光大会で披露した踊りが好評で是非踊ってほしいと依頼があり、会員13人が参加し、同園と別棟のケアハウスでマツケンサンバを披露。アンコールもあり入居者と一緒に踊りながら盛り上りました。

福山優美子会長は「みんなでちょっとずつの思いを持ち寄った。たくさん食べて長生きしてほしい」と話しました。



マツケンが来て喜ぶ入居者

12/17 倉吉4支部 教育委に手縫いの雑巾502枚贈呈

倉吉市内にある女性会の4支部長(河北、倉吉、大鴨、久米)は、倉吉市教育委員会を訪れ、中田寛教育長へ雑巾502枚を手渡しました。雑巾は倉吉市内の小学校10校と中学校5校に割り振られ、掃除等に活用してもらいます。雑巾は会員が1人1枚ずつ縫ったもの。

河北支部長の福井満寿美さんは「心をこめて、どんな子が使ってくれるかなと想像しながら縫った」と話し、中田教育長は「毎年いただいております。年度末から使っていきたい」と話しました。



会員一人一人の思いの詰まった雑巾を贈呈



花を生ける参加者

12/27 大栄支部 フラワーアレンジメント教室 新年に向け華やかに

大栄支部は、北栄町で正月用のフラワーアレンジメント教室を開き、35人が参加しました。花工房あげたけの根鈴美弥子さんを講師に迎え、松やウインターベリー、ランキンキュラス、ピンポン菊、扇などの花や飾りで正月らしいフラワーアレンジメントを完成させました。

同支部の森本真理子会長は「清々しい気持ちで新しい年を迎えられそう」と話しました。講師の根鈴美弥子さんは「皆さん花の特徴を掴みながら手早く花を生けられていた」と話しました。

12/18 年の瀬を彩るストック 需要に対応した特別規格目合わせ



枝や開花している花の数を見て出荷規格を確認

大栄花き部会は、特産品の花「ストック」の目合わせ会を開きました。年末に拡大する需要に応えようと、生産者約40人で採花規格を確認。12月下旬の出荷分に特別規格を適用しました。今年は夏の猛暑で全国的に開花が例年より遅れていたため、寒い日でも日中のハウス内の気温をしっかりと調整し開花を促すよう呼びかけました。塚本茂雄部長は「ここでたくさん出荷できれば、市場から『やはり大栄が頼れる産地』と思ってもらえる。需要に合わせしっかりと量を出荷していきたい」と意気込みました。

12/8 就農希望者と 「ねばりっこ」の産地体験会

長芋生産部は北栄町で、担い手確保に向け産地体験会を開きました。ねばりっこの収穫を体験したり就農支援制度について話を聞こうと県内外から5人が参加。体験や交流を通じて、就農を希望する参加者の背中を後押ししました。



参加者の中には昨年10月に大アラレが降る中、スコップで掘り起こす参加者
阪市で開催された就農相談会をきっかけに同部
を知り、関西から駆け付けた人も。会では、同部で
新規就農支援担当の藤川優一さんのほ場で、油圧
ショベルと手掘りの2種類の収穫作業を体験した
後、動画で年間作業を確認したり質疑応答で交流
を深めました。

12/11 平井知事に「ねばりっこ」の 生産販売概況を報告



竹本部会長から平井知事に「ねばりっこ」贈呈

生産部役員3人とJAの向井敏弘専務は、県庁を訪れ、北栄町特産品「ねばりっこ」の生産販売概況の報告を平井伸治県知事に行いました。同部の竹本健二部会長は「生育が心配されたが掘り取りも順調。春まで生産者皆で収穫し、全国へ届けていきたい」とPRしました。平井伸治知事は「年数と手間が掛かっている北栄町の代名詞「ねばりっこ」、皆さんが丹精込めて作られて評判を勝ち取ってこられた。新品種も含めて皆様と一緒に砂丘地での芋作りの伝統をしっかりと未来に向けて繋げていきたい」と話しました。

12/16 琴浦スイカ1億円超 総会で報告



部員の前で挨拶をする吉田部長

琴浦西瓜生産部は、総会を開き今年度の出荷数は2万7,135ケース(1ケース15.5kg)で1億1,845万円だったことを報告しました。同部が栽培する黒皮スイカ「琴浦がぶりこ」と縞スイカ「琴浦のきらり」の2種類のうち、「琴浦がぶりこ」は1ケース当たりの平均単価が4,659円と計画を11%も上回る高単価を記録。

吉田也寸志部長は「今年は栽培に苦労が多い年だったが、近年稀にない安定した糖度で出荷できた。来年は、今年以上の品質・数量を目指していきたい」と意気込みました。



青壮年部の活動

青壮年部のできごとをお伝えします



中国・四国地区JA青年大会 鳥取県代表 秋山正治さん

中国・四国地区JA青年大会が12月12日・13日に徳島市で開かれ、倉吉支部の秋山正治さんが鳥取県代表として出場し素晴らしい主張を行いました。題名「家族農業のこれから」と銘打ち、「幸せ」の価値観を見つめ直すきっかけとなった東日本大震災の被災体験から、45歳で「ターン」を決意したことや、前職の経験を活かし家族と共に楽しくやりがいを感じる農業経営を目指すこと、そして過疎化が進む地域の活性化には家族農業の活性化と発展が必要と思いを述べました。



「農業を通じて、みんながキラキラ輝く思い出を作れるよう頑張りたい」と主張を締めた秋山さん



JA鳥取いなば青壮年部、JA鳥取西部青壮年部の盟友とも親睦を深めました

topics

制服が一新しました



事務服、ブルゾン、スカート、ズボン、多様性を尊重し自由な服装へ

今シーズンから女性の制服を1種類に縛らず、一人一人スタイルを選択できるように変更しました。これまではスカート・ベスト・ジャケットといった事務服のみでしたが、今冬、デザインを一新したブルゾンを、男性だけでなく女性職員にも支給。職員はTPOにあった服装を選ぶようになりました。男女で差がない服装にすることで多様性を尊重し、働きやすい環境づくりを目指します。

ブルゾンは深緑と黒色で、落ち着いたデザイン。一部部署を除き全職員に配布し、女性はスカートの他に、パンツスタイルも選択可能になりました。動きやすさの向上とともにウォームビズの観点から暖房の節電にもつながります。JAでは2年前にも、男女共通のポロシャツを夏服に導入して、多様な時代に合う姿へと変化を遂げてきました。

三朝神倉大豆のきなこを使ったカントリーマアム発売へ



三朝神倉大豆のきなこを使ったカントリーマアム

(株)不二家(東京都)は、鳥取県産三朝神倉大豆のきなこ2tを買い入れ、沖縄県多良間島産黒蜜と組み合わせた「和」の味わいが楽しめるカントリーマアムを、令和7年2月上旬より全国販売します。

三朝神倉大豆はイソフラボン含有量が一般的な大豆の約2倍で、これまでも神シリーズとして豆乳、水煮、納豆、味噌、どら焼きなどを販売しています。きなこ黒蜜を練りこんだしっとりとした食感の生地が上品な味わいとなっています。

農産部木下拓也部長は「三朝神倉大豆の風味の良いきなこを練りこんだサクッリ食感の生地となっており、中にはホワイトチョコチップが入っている事で豊かな味わいとなっています。JA各直売所で販売しますので、是非お買い求めください」と話します。

12/19 幻の原木シイタケ「茸王」と「とっとり115」目合わせ



日本きのこセンターの職員による出荷規格の説明を聞く生産者ら

JA鳥取中央椎茸生産部は、県産ブランドシイタケ「鳥取茸王」と「とっとり115」の目合わせ会を開きました。9月以降、気温低下と適度な降雨といった栽培の好条件が揃い、順調に生育が進んでいます。出荷は12月末から始め、3月上旬まで続きます。

「鳥取茸王」は鳥取市の日本きのこセンターが開発した、原木しいたけ「とっとり115」のうち、傘径や厚さなどの厳しい規格をクリアしたもの。東京都の日本橋三越や京都の高級料亭にも卸しており、全国にファンが多い一方で、収量はあまり多くないため、幻の鳥取原木シイタケとも呼ばれています。

同部の福井聡部長は「ここ数年は、暖冬で収量が少なく単価が不安定だった。今年はたくさん収穫し多くの人に喜んでいただきたい」と話します。

12/19 組合長と若手職員の語る会



若手職員に「JAを取り巻く環境は厳しいが、職員個人のレベルアップで対応していきたい」と話す上本組合長

上本武組合長は、直接話す機会の少ない若手職員の意見や提案を聞くために、勤続3年～15年で30代までの職員と「組合長と語る会」を開きました。

今年度から開催し、6月に続き2回目となります。金融部職員からは、事務の効率化についての意見が出され、営農部職員から仕事のやりがいとして、「生産者と一緒にいるため喜んでもらえたり貢献できたなど感じた時」「目標達成やノルマ達成が自身のモチベーションになる」などの意見がありました。また、各営農センター間の情報共有を求める声も上がりました。

上本組合長は「これらの意見を直ちに実現に向けて進め、今後も継続し風通しの良い職場環境を作りたい」と話しました。

12/13 名前に「中央」が付く中四国のJAで交流

JA鳥取中央では、中四国JA名称中央冠名交流会議（通称JA中央サミット）としてJA山口県（旧JA山口中央）、JAえひめ中央、JAひろしま（旧JA広島中央、旧JA佐伯中央）と令和元年から事業連携協定を結び交流会議を開催しています。令和6年度は、JAえひめ中央で開催。松山市にある光センサー式選果場、「紅まどんな」などの柑橘類の樹園地再編整備事業等視察し情報交流を行いました。情報交換するなかで、今年度はみかんが全国的に不足して直売所での販売が品薄になっている事を相談。結果、JAえひめ中央から、「はれひめ」、「あいか」を入荷でき、年末年始の準備で賑わっている管内直売所で販売する事ができました。今後も年1回の中央サミットの開催の他、事業連携、災害時支援体制などを行っていきます。



JAえひめ中央から入荷した柑橘類を直売所で販売



愛媛県松山市の光センサー式の選果場を視察

海外旅行に行き、日本と違った文化や人々の暮らし等にふれた瞬間です。

(はーびーぶーさん)

子どもの時、クリスマスプレゼントを少しずつ開けていく瞬間です。

(いちごちゃんさん)



仙台に暮らす孫が夏休みに遊びに来てくれて一緒に花火をして過ごした時です。

(ユーミンブランドさん)

読者からの お便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題

人生で1番楽しいと思った瞬間

を教えてください。



その年の新米を初めて食べる時です。炊きたてはツツヤで美味しく、毎年、この瞬間を楽しみにしています。(だいたいさん)



育てている多肉食物が大きくなったり、芽が出たりした時です。

(肉にくさん)

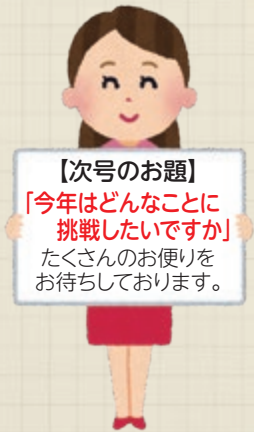


若い頃、男性と同じ高い跳び箱をポーンと飛べたこと！挑戦すればする程高く飛べ、めちゃくちゃ楽しかったです。

(眞千香さん)

【次号のお題】

「今年は何なことに挑戦したいですか」
たくさんのお便りをお待ちしております。



寒い冬や畑仕事のあとにあったかい湯につかる瞬間！ああ、いい塩梅！し・あ・わ・せ。

(つたさん)

暮らさうたう川柳

課題「国消国産」

鈴木 公弘 選

果樹育て我が家の庭は国産化
梨送り嫁の里から丹波栗
日本の技が関税の中泳ぎ出る
財貨より心豊かな村でいい
少子化進む未来を考える
地産地消を給食で子ら学ぶ
採れ採れの日本を詰めるお弁当
米農家オレで辞めるか子は都会
温暖化自国の農を守らねば

倉吉市 鳥飼寿々子
琴浦町 安岡 久子
倉吉市 山崎恵美代
湯梨浜町 和田 三郎
北栄町 西村奈保子
倉吉市 山松みち子
湯梨浜町 川口 亜矢
倉吉市 高多 和弘
湯梨浜町 谷本 真樹

【今月の佳吟】
難しい事は言わない地物好き

倉吉市 八田 敦子

(評) 出題は国消国産(こ・く・しよ・う・こ・く・さ・ん)と読むが、旬作経験の豊富な方ほど、この言葉が「8音字」であり、そのままを上・中・下の中の部分に入れても字余りになると気づくはずだ。また漠然としたテーマなので、何をどのように描けばよいのか、絞るのに悩んだらう。多くが地産地消の意味合いに捉えていた。暮らしを詠う川柳という観点から申せば、身近な事例を描くことが賢明だと思ふ。(投句総数41)

※次号の課題は「野菜」です。締切1月27日(月)必着
住所、氏名(雅号もフルネームをご記入下さい)、電話番号、作品1人三句以内を裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。ペンネームでの投稿は無効となりますのでご注意ください。

旬のレシピ

りんご釜の バニラアイス



材料(1人分)

- りんご(紅玉) ……………1個
- 無塩バター…………… 大きじ1
- グラニュー糖…………… 大きじ1
- シナモンパウダー…………… 小さじ1/2
- バニラアイス(市販品)…………… 適宜
- 黒豆(市販品)…………… 適宜
- イチゴ……………1個

作り方

- (1)リンゴの釜を作る。紅玉をふたと器に切り分け、器部分は種周辺を丸くくり抜き、塩水に漬けてから水気を拭き取る。フライパンに無塩バターを入れ、中火で器の切り口側に焼き色を付け、グラニュー糖とシナモンを回しかける。
- (2)オーブンを200度に熱し(1)の紅玉のふたと器を10分ほど焼く。崩れないように頃合いを見て取り出す。
- (3)熱いうちに器部分にバニラアイスを入れて、ふたをのせ、イチゴ、黒豆を飾り出来上がり。

JA information

2025 **新春ドリリームフェア** ご来場記念品進呈

毎日先着 **500** 名様

とき **2/22** 土 9:30~14:00 • **23** 祝日 9:30~14:00

ところ **大栄すいか 統合選果場**

農機・自動車・ガス 合同展示会

Rinnai 乾太くん

家が揺れても、人生は揺らがないように。

地震への備えは、万全でしょうか。建物はもちろん、家財の被害にも備えておくこと、日常を取り戻すのに役立ちます。

「共済」は「助け合い」。地震などの自然災害が多発するなか、真価が発揮されています。

建物更生活済 **むてき共済** 建物更生活済 **My家財共済**

くらしの保障、相談するなら **JA共済**

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>
24481050092

JA教育ローン 特別金利キャンペーン 実施中!!



【キャンペーン期間】

2024年10月1日～2025年4月30日

【キャンペーン内容】

- 証書貸付型
- 借入金額1,000万円以内
 - ・借入期間最長15年
 - ・変動金利型: 最軽減後 **年1.25%** (店頭標準金利2.25%)
 - ・固定金利型: 最軽減後 **年1.85%** (店頭標準金利2.85%)

カード型

- 借入金額700万円以内
- ・変動金利型: 最軽減後 **年2.15%** (店頭標準金利3.15%)

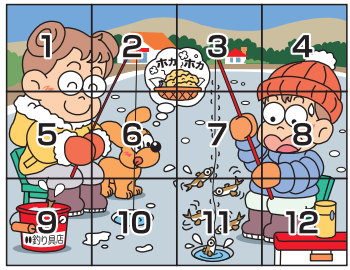
詳しくはJAネットローンホームページへ
<https://ja-netloan.jp/guides/kyouiku/>

ご子弟のこれからの教育資金についてのお問い合わせ・ご相談は各支所金融課へ!

まちがいさがし

今月のプレゼントは
三朝神倉大豆を使用した「神の笑み」大豆餡のどら焼き

右のイラストには左のイラストと違う部分は何カ所かあります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



1月号の答え
リュウヒョウ

応募要項

はがきやメール、FAXで①よかった記事と理由②今月号のクイズの答え(間違いがあるパネルの数字)③郵便番号④住所⑤氏名⑥電話番号⑦次号のお便りのお題「今年はどうなことに挑戦したいですか」の回答を書いてお送りください。まちがいさがし正解者の中から抽選でプレゼントを発送いたします。

【宛先】
〒682-0867 倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
メール/kouhou@ja-tottorichuou.or.jp
FAX/0858-23-3070
応募締め切り/1月31日(金)

※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「トリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。

ここからも応募できます

ご応募お待ちしております

伝える、支える。 農業が変わる。

中四国版 紙面には、JA鳥取中央の記事が随時掲載されています! ぜひご覧ください!!

お近くの新聞販売店から毎日お届けします。

購読料 月極

紙版 **3,100円** (税込)
電子版 **2,403円** (税込)

購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。

購読料 年額

9,411円 (税込)

誌代1年分を年間予約として購読料をお支払いいただくと普通月号1か月分が無償となります

※原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。
※1冊からでもご購読できます。

編集後記

今回の表紙は、北栄トリーム農場のイチゴ「紅ほっぺ」です。皆さんイチゴは食べられましたか? 私は、今シーズンに2回もイチゴの取材に行きましたが、まだ食べていません。ハウスの中には大きなイチゴがたくさん実っていました。一粒食べてみたいなという思いはありましたが、ぐっとこらえました。表紙の撮影にはファーム長に協力していただきました。この手いっぱいイチゴには生産者さんの愛情がいっぱいつまっているのが伝わってきます。収穫したイチゴはJAや洋菓子店へ出荷されています。6月中旬まで収穫が続き、3月中旬~5月中旬までの間、観光農園を開く予定だそうです。

広報課